

令和2年3月19日

軽井沢町議会
議長 佐藤敏明 様

議員名 寺田和佳子
(報告書作成) 寺田和佳子

研修報告書

1 視察日程

2019年6月19日(水)

2 視察先及び目的

- (1) 東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・JXビル1階
①エコッツェリア協会に関する取り組みについて

3 視察参加者

寺田和佳子 押金洋仁

4. 研修内容

- (1) 東京都 千代田区 大手町 ― 令和元年6月19日(水) ―

◎視察目的

エコッツェリア協会に関する取り組みについて
環境共生型まちづくりに関する調査研究

◎視察内容(ヒアリング内容)

説明者 エコッツェリアプロジェクトマネージャー
3×3Lab Future 運営、各種プロジェクトプロデューサー
田口真司

- ・「エコッツェリア協会」とは、「一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会」や「NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会」の活動を通じて培われたエリア内の企業との協力関係をもとに、2007年5月に設立された一般社団法人。
- ・産官学民パートナーシップ(CSRイノベーションワーキング・環境経営サロンなど)
- ・情報発信(CSV流ライフスタイル『SHAREISM』・大丸有CSRレポートなど)
- ・調査研究(サステイナブルビルディング建築技術・省エネルギー・新エネルギー技術など)
- ・コミュニティアクション企画・運営
(丸の内朝大学・打ち水プロジェクト・エコキッズ探検隊・エコ結びサイト・食農プロジェクトなど)
- ・空間運営(「3×3Lab Future」)

◎考察

大手町・丸の内・有楽町地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っている協会です。ビル建設の前段階として、取り壊し予定のビルで実証実験を行い、人が集まる仕組みを成果として残し、新しい施設の建設に至りました。

大手門タワー・JXビル1階「3×3Lab Future」は、まちづくりや環境活動のヒントが凝縮されたユニークな施設です。ここは大丸有エリアで行われている先進的な環境対策を学ぶことができ、広く一般に開放されています。

協会では「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、大丸有地区に集う企業・事業者のコミュニティ形成や、次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

ビルが立ち並ぶエリアでありながら、再開発が進む大丸有地区では、都市開発の中で緑を工夫して取り入れることで、新たな緑地や街路樹等が誕生し、豊かな自然を育てています。

移動手段として、エリア企業の協賛金で運行する無料巡回シャトルバス「丸の内シャトル」も運行し、回遊性もはかっています。車両はもちろん、ハイブリッドで人と環境にも配慮しています。

また、防災への取り組みも魅力的で、大丸有地区では、地区外からの帰宅困難者も受け入れるために、21施設が千代田区と受入協定を締結しています。

様々な分野の防災研究会を催したり、災害時に必要な情報を集約する「大丸有地区災害ダッシュボード」の作成や、ライブ映像と地図情報を重ねる実証実験を行う等、大丸有地区の状況を俯瞰する仕組み構築に取り組んでいます。

この協会の取り組みは、様々な分野で当町でも参考になるものがあると感じました。